504687984 12/14/2017

PATENT ASSIGNMENT COVER SHEET

Electronic Version v1.1 Stylesheet Version v1.2 EPAS ID: PAT4734706

SUBMISSION TYPE:	NEW ASSIGNMENT
NATURE OF CONVEYANCE:	COURT ORDER

CONVEYING PARTY DATA

Name	Execution Date		
NIHON NATURE CELL CO., LTD	09/30/2017		

RECEIVING PARTY DATA

Name:	KABUSHIKI KAISHA KANKYO KEIKAKU
Street Address:	2ND FLOOR, DAIAN KOUJIMACHI BUILDING
Internal Address:	1-3, KOUJIMACHI, CHIYODA-KU
City:	TOKYO
State/Country:	JAPAN
Postal Code:	102-0083

PROPERTY NUMBERS Total: 1

Property Type	Number					
Patent Number:	9613723					

CORRESPONDENCE DATA

Fax Number:

Correspondence will be sent to the e-mail address first; if that is unsuccessful, it will be sent using a fax number, if provided; if that is unsuccessful, it will be sent via US Mail.

Email: alevine@stetinalaw.com
Correspondent Name: MARK B. GARRED
Address Line 1: 75 ENTERPRISE

Address Line 2: SUITE 250

Address Line 4: ALISO VIEJO, CALIFORNIA 92656

ATTORNEY DOCKET NUMBER:	NAKAI-076US
NAME OF SUBMITTER:	MARK B GARRED
SIGNATURE:	/mbg/
DATE SIGNED:	12/14/2017

Total Attachments: 7

source=Court_Order_docs_recordation#page1.tif

source=Court_Order_docs_recordation#page2.tif

source=Court Order docs recordation#page3.tif

source=Court_Order_docs_recordation#page4.tif

source=Court_Order_docs_recordation#page5.tif

PATENT REEL: 044397 FRAME: 0821

504687984

source=Court_Order_docs_recordation#page6.tif source=Court_Order_docs_recordation#page7.tif

> PATENT REEL: 044397 FRAME: 0822

[金銭消費貸借契約書]

貸主と借主は、次の通り金銭消費賃借を締結した。

第1条(金錢消費貨間)

貸主 株式会社 建物財産管理センター (物環境計画とも) は、借主 日本ネイチャーセル 株式会社に対して金銭を貸渡し、借主はこれを借受け受倒した。

- ₹ 10,000,000 PJ
- 平成27年7月31日 2 井 済 期
- 弁済期に一括返済(下記口座に振込み返済) 3. 弁済方法

振込口座 三月化太銀行 新泊支店(221)

口座番号 1720630

口座名義 佛環境計画

- 4. 利息 金300,000 円
- 5. 利息支払口 弁済期に利息と共に一格返済
- 6. 遅延机営金 年 20 ハーセント(365 川 川割計算)

第2条(担限・保全)

- 1. 借 Eは、日本ネイチャーセル佛が保育する小型原子がに関する同内外に対する特許権 及びアメリカ合衆国に於ける著作権の一切の権限を、郷環境計画 代表取締役 先歳 及四に、本作譲渡の西塚とし塔供する。
- 2. 借もは、114ネイチャーセル傷の株式 200 株(時価 1,080 万円)を、㈱環境計画 代表取締役 佐藤政昭氏に、本作離黄の担保として提供する。
- (尚、この株式は、返済完了後も保有して頂き、仏蔵政昭氏を日本ネイチャーセル構の 株正として登記させて頂きます。)

第3条(期限の利益数失)

件について、次の事曲の一つでも生じた場合には、貸上からの通知確信がなくても借上は 当然に期限の利益を失い、直ちに元利金を支払う

- 1. 借上が他の債務により強制執行者しくは競売、破産、民事再生予約開始、会社整理開 始又は会社更生手税開始の申し立てを受けたとき。
 - 2、借主が国税滞納処分又はその例による差押えを受けたとき。
- 3. 借上の預金等財産に仮差押え、差押えの通知が発送されたとき。
 - 4. 借上の手形交換所における取引符上処分を受けたとき。
- 5. 借主に対する債権保全が必要と相当の事由に該当すると容観的に認められるとき。
 - 6. 信所変更の届け川を怠り住主に対してその所在が不明となったとき。

第4条(連帶保証人)

連帯保証人は、借上がこの約定によって負担する一切の債務について、借刊と連帯して保証 し借言と連帯して履行の責を負う。

ら

)

第5条(公正証書の作成)

借主及び連帯保証人は貧上から清水があればいつでも、この契約による債務について、強制 **操行の認語のある公正証券の作成に応じなければならない。**

第6条(合意管轄)

この契約に関する紛争については、東京地方裁判所を第一部の管轄規制所とすることに各当 専者は合意した。

第7条(特約事項)

日本ネイチャーセル側の事業において生じる事業収益に対し、毎年の事業収益の1%のコン サル料を株式会社・建物財産管理センター(構環境計画合む)に支払うことを約束する。 上記の金銭消費貸借契約を議するため、本契約等三通を作成し、各当事者署名利用のうえ、各 1 道を所持する。

代主(低福力)

化所 東京都千代田区場町1丁川3番地 代表取締役 佐 藤 政 昭 氏名 株式会社独物財産管理センター ダイアン場町ビル 2階 株式会社 環境計画

借工價格各公社印鑑证明片添付

作所 東京都下代田医九段南 3-8。 日本ネイチャーセル株式 代表取締役 柳 瀬 正

作所 埼玉県さいたま市浦和大常盤 道帶保証人(個人印鑑証明,等添付)

が瀬戸 压名

进带保証人(個人印鑑証明書添任)

東京都杉並区浜田山 4-3-価 开名

PATENT

044397 FRAME: 0823

LOAN AGREEMENT

Lender and Borrower conclude a loan agreement as follows.

Article 1 (Loan Agreement)

Kabushiki Kaisha Tatemono Zaisan Kanri Center (or Kabushiki Kaisha Kankyo Keikaku) ("Lender") agrees to lend to Japan Nature Cell Co., Ltd. ("Borrower") and Borrower agrees to borrow from Lender the Loan Amount.

- 1. Loan Amount: 10,000,000 Japanese Yen
- 2. Due Date of Principal: July 31, 2015
- 3. Payment Method: Batch payment by the above due date (transfer into the following bank account)

Bank Account: Shinjuku Branch (221), Sumitomo Mitsui Banking Corporation

Account Number: 1720630

Account Holder: Kabushiki Kaisha Kankyo Keikaku

- 4. Interest: 300,000 Japanese Yen
- 5. Due Date of Interest: Batch payment together with the principal by the above due date
 - 6. Late Charge: 20 % per annum (prorated on the basis of a 365-day year)

Article 2 (Security Safeguarding)

- 1. Borrower provides full powers of domestic and foreign patent rights and copyright in United States relating to a small nuclear reactor held by Borrower to Representative Director of Kabushiki Kaisha Kankyo Keikaku Masaaki Sato as security of the present finance.
- 2. Borrower provides 200 shares (10,800,000 Japanese Yen at market value) of stock of Borrower to Representative Director of Kabushiki Kaisha Kankyo Keikaku Masaaki Sato as security of the present finance. (In addition, these shares shall be held by Mr. Masaaki Sato, he shall be registered as a shareholder of Japan Nature Cell Co., Ltd.)

Article 3 (Forfeiture of Benefit of Time)

When at least one of the following events occurs Borrower shall naturally forfeit benefit of time and immediately pay the principal and the interest without a notice or a demand from Lender:

- 1. when Borrower has received petition of compulsory execution or auction for other debts, bankruptcy, commencement of civil rehabilitation proceeding, commencement of company liquidation or commencement of company reorganization procedure;
- 2. when Borrower has received procedure for collection of national tax delinquency or seizure thereby;
- 3. when a notice of provisional seizure or seizure of Borrower's property such as deposit has been sent;
- 4. when Borrower has received a disposition to suspend transactions with a clearinghouse
 - 5. when it is objectively considered that Borrower's credit protection is necessary;

PATENT

and

6. when Borrower's whereabouts are unknown to Lender without address change notice.

Article 4 (Joint guarantors)

Joint guarantors shall be deemed to have jointly and severally guaranteed the debts assumed by Borrower based on the present agreement, and shall be jointly and severally liable with Borrower.

Article 5 (Preparing notarized deed)

Whenever Lender claims to prepare notarized deed for debts authorizing compulsory execution based on the present agreement, Borrower and joint guarantors must respond thereto.

Article 6 (Jurisdiction)

The parties agree that Tokyo District Court shall be the court with jurisdiction of first instance for disputes according to the present agreement.

Article 7 (Special provision items)

Japan Nature Cell Co., Ltd. promises to pay 1% of the business profit every year to Kabushiki Kaisha Tatemono Zaisan Kanri Center (or Kabushiki Kaisha Kankyo Keikaku) as consulting fee.

In witness whereof, the present agreement may be executed in three counterparts, each of which is signed and sealed by the parties concerned and held by each party,

April 28, 2015

Lender (Creditor)

Address: 2nd Floor, Dian Kojimachi Building,1-3, Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo Name: Kabushiki Kaisha Tatemono Zaisan Kanri Center Kabushiki Kaisha Kankyo Keikaku Representative Director Masaaki Sato

Borrower (Debtor: Certificate of the Registered Seal-Impression of the company is attached)

Address: 9nd Floor, Kawauchi Building, 3-8-10, Kudan-minami, Chiyoda-ku, Tokyo Name: Japan Nature Cell Co., Ltd. Representative Director Masao Yanase

Joint guarantor (Certificate of the Registered Seal-Impression of the person is attached) Address: 3-22-12-301, Tokiwa, Urawa-ku Saitama-shi, Saitama

Name: Masao Yanase

Joint guarantor (Certificate of the Registered Seal-Impression of the person is attached)
Address: 4-34-5, Hamadayama, Suginami-ku, Tokyo

Name: Hirotaka Kajiya

d

PATENT

東京地殼 醇第45部 千億 翻竹階記定 遊谷 明美樣 Flax 03-3580-7568

(書面2)

u .	答	弁	書

1 事件番号 平成 29 年(ワ)第 2/082 号 (東京地方裁判所民事45 部 4 係) 2 平成29年 7月28日 住 所 (〒330-006/) 大利む学 ていたまで 浦本辺 学 3-22-/2-30 ふりがな かる せ な ホ 電 話 048-832-/9/8 氏 名 木和 淳久 正 男 間	*		-		
住 所 (〒330-006/)			082 号 (東	原地方裁判所民事45 台	部 4 係)
	2 平成29年 7	月28日			*****
氏 名 オータリ 正 男 日	住 所 <u>(</u> 宁	30-006/) 埼玉県	tutto 并	声视 常盤 3-2	2-12-30,
今後、私に対する書類は、 ✓ 上記2で記載した住所あてに送ってください。	氏 名	柳瀬正男見	推	帯 ロクカーマタンメーノヒ	-1
□ 上記2で記載した住所あてに送ってください。 □ 次の場所あてに送ってください。 □ の場所は、私の □勤務先 □その他(私との関係 住 所 (〒 一) 名 称			T I'A	1-010-832-1912	<u> </u>
□ 次の場所あてに送ってください。 この場所は、私の □勤務先 □その他(私との関係 住 所 (〒 -) 名 称 電話 FAX 「新状の「請求の趣旨」に記載されている原告の申立てについて (1) 原告の請求を棄却する。 (2) 訴訟費用は原告の負担とする。 との判決を求める。 「訴状の「請求の原因」に記載されている事実について 「すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)	今後、私に対す	る書類は、		•	•
正の場所は、私の 口勤務先 口その他(私との関係)です。 住 所 (〒 一) 名 称	以上記2で記載	した住所あてに送ってくた	ささい。		
住 所 (〒) 名 称	リー次の場所あっ	てに送ってください。			
住所(〒) 名称	この場所は、	私の口勤務先口その	他(私との関係) ਵਿੱਚ
名称	住 訴 (三				
4 訴状の「請求の趣言」に記載されている原告の申立てについて (1) 原告の請求を棄却する。 (2) 訴訟費用は原告の負担とする。 との判決を求める。 5 訴状の「請求の原因」に記載されている事実について すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)	100 171 <u>()</u>				
4 訴状の「請求の趣言」に記載されている原告の申立てについて (1) 原告の請求を棄却する。 (2) 訴訟費用は原告の負担とする。 との判決を求める。 5 訴状の「請求の原因」に記載されている事実について すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)				-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4 断状の「請求の趣言」に記載されている原告の申立てについて (1) 原告の請求を棄却する。 (2) 訴訟費用は原告の負担とする。 との判決を求める。 5 訴状の「請求の原因」に記載されている事実について すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)	名 称		F A 5		
(1) 原告の請求を業却する。 (2) 訴訟費用は原告の負担とする。 との判決を求める。 5 訴状の「請求の原因」に記載されている事実について すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)	4 訴状の「請求の	趣管」に記載されている間	生の中ウブニー		
(2) 訴訟費用は原告の負担とする。との判決を求める。 5 訴状の「請求の原因」に記載されている事実について すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)	(1) 原告の請求	を棄却する。	・日の中北 (につい	Č	
との判決を求める。 5 訴状の「請求の原因」に記載されている事実について すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)	(2) 訴訟費用は	源告の負担とせる		ř	
5 訴状の「請求の原因」に記載されている事実について すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分)	との判決を求め	る.		•	
で すべて認める。 □ 間違っている部分がある。 (間違っている部分) 6 上記以外の私の言い分	5 訴状の「請求の	原因!に記載されている主	(#1	,	
日 遺造っている部分がある。 (間違っている部分) 6 上記以外の私の言い分	すべて認める). 	Sele Der C	•	
(間違っている部分)					
6 上記以外の私の言い分	(間違っている	部分)		ė	
				2,	
		•	٠		
		4	•	4°	
		•	•	* *	
			*	e .	
		,			1 1
				1	
	6 上記以外の私の	の意い分			ノ
			•		
	/ 产年度上	·别太(新2件9A3	10日) 25亿 原	Kn詩的 /401	10 mm
(在年度上期末 (新29年9月30日) 25亿 后世の詩歌館 (401/000)	の全額を	王月皇にて あるせい	BAINT 11	TXTH	1,003-1
一个年度上期末(新2年9月30日)之之上,原告の請求額(48.469.863-) の全額を到出上了からかいのかけま	BA ADAM	in the second of the	四日90 极为	かる気は、指定され	SUZ!
THE POPULATION OF THE PROPERTY	1 200 1		ー ニ ふけんしょ	2014 1 23-450	
原告の銀行口座へ振りふんみにここまちないなります。	100	メバル 次承りたフェイル	けいひんかんの レエル	The real ways are	
原告の銀行口座へ振り込みにこる方板い致ける。上記期日迄の	又比当日 五	から届出いまさい	56++1	・1を少込み時は、	預月
原告の銀行口座へ振り込みにこる方板い致ける。上記期日迄の	1 20 0	** U / G / S / S / S / S / S / S / S / S / S	D 442-4_45 M-7 1 E3 8	50 Fe 10 € 1 € 1 €	Sec. 2 Sec. 3
原告の銀行口座へ振り込みける。校私の旅は、指定土れている国に、一括又は分割にて市振り込み級にす。振り込み時は、前日又生生日、私から在海に東京のお殺な土地でできます。	かがれている。	ここに場合は、本作	性线消費儲蓄	兴着(萩 2044A2	8PH)
原告の銀行口座へ振り込みにこるが支払い致けず。 た記期日迄の 間に、一括又は分割にこれ振り込み致します。 振り込み時は、前日又は当日、私から原告に事前の連絡をこせて頂きます。 万一、上記期的定以 実済不可能 だった場合は 水佐全会 は場所をおいませる	一步生	STALZY JOHN	A 由生の行付	たき沢 水生ナ	
原告の銀行口座へ振り込みにこる方板い致ける。上記期日迄の面に一括又は分割にても振り込みがはます。上記期日迄の	10				

PATENT

To: Akemi Shibuya

Court Clerk

Section 4, Civil Division Number 45 of Tokyo District Court

FAX: 03-3580-7563

(Document 2)

Response	
1 Case No. wa-21082 (2017) (Section 4, Civil Divis	ion Number 45 of Tokyo District Court)
2 July 28, 2017	
Address: (Zip Code:330-0061) 3-22-12-301, T	okiwa, Urawa-ku, Saitama-shi, Saitama
	Phone: <u>048-832-1918</u>
	Mobile: <u>070-3826-1551</u>
Name: <u>Masao Yanase</u> seal	FAX: 048-832-1918
3 Notification of Place of Service	
Please send documents for me	
\square to the address described in the above 2.	
\Box to the following address.	
The following address is my work place.	
_	with me :).
	•
Address:(Zip Code -)	
	Phone:
Name:	FAX:
4 About plaintiff's claim described in column "object	t of claim" of the complaint.
I require a judgement that:	
(1) plaintiff's claim is rejected; and	
(2) plaintiff bears the costs.	
5 On the fact described in column "object of claim"	of the complaint
☑ I admit all of them.	
\square I cannot admit all of them.	
(I cannot admit that)	
	<u> </u>
`	
)
6 Others	
(I hope friendly settlement (amicable settleme	nt)
I will pay the full amount claimed by the pl	
in cash by the end of the first half of this ye	ar (Sontombor 20, 2017) I -::II
transfer it to the designated plaintiff's acc	I I-
perform batch payment or divided payment	* '
payment or on the payment, I will contact w	fun the plaintiff. If I could not
pay the full amount, I admit that the plainti	ii excises the contents described
in Article 2 of the loan agreement (dated on a	April 28, 2015).

PATENT

(簡略調書様式·後日判決言渡用)

			-		-					سيد بيزوست					
事件の表	示 5	平成 ———	2 9	年(ワ) j	第 ——	2 1	082	3	号	裁判官認印			<i> </i>
	r'	第		回	口		弁	論	調	書	(判	決)			
場所及び公開	の有無	東民事第	京 地 第45部	方 裁 常法廷で			期日	平成	29年	. 8	月	4日 4	午後	1時1	 L O 矣
裁判	官	佐	藤	長	粳	惷	101					L	-	-	
裁判所書		<u> </u>					た当事者等	i 	(4	*	L')			
弁論の要領等	争(たた	どし、高	该当事項	種口に	認印	をした	こものに	 に限る。	,)						
裁判官	てのとま	るり主ス	 文及び理	曲の要	旨を行	告げて	判決	 言渡し	-,						
当事者			状(代)				しの当	事者欄	記載の	とおり	b				
	10 1	別紙当	事者目録	泉記載の)とお <u></u>	· b	···								
主 文(別紙訴	状(代社	つる 準備	書面) 写 [しの請	求の趣	旨記載(のとは	おり				
(百,	この判	決は仮に	こ執行す	-るこ	とがっ	できる	٥							
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 ,	別紙主	文記載0	りとおり	1	·			· <u></u>	· _					
請求		引紙訴:	状(代表	っる準備	書面) 写[_の請	求の趣	旨及び記	清求の	つ原因	闌記載 σ	つとおり)	
		訴状	送達の日	∃の翌日	it,	平成	年	月	日						
		引紙準(備書面	(平成	年	J.	₹	日付け)写し語	記載の	Dとお	ŋ			
	1		求記載の												
理由の要旨(口才	波告日2	本ネイチ	トャーセ	ル株:	式会社	上は, :	本件口!	項弁論 其	男日に	出頭1	さず, 答	弁書そ	の他の	準備
	を書の	旬を提け のとし⁻	出しない て、これ	い。した いを自白	がっ [~] した	て,同 ものと	被告に	におい す。	て請求原	東因事	実を争	争うこと	を明ら	いかにし	ない
V	日/都	皮告梶多	家廣隆は	t,請求	棄却の	の判決	を求	め,請な	求原因專	事実は	は認める	ると述べ	た。		
e .		波告 れば, i	は,公 請求原因	:示送達 対事実は	による tすべ	る呼出 て認め	しを うられ	受けたz る。	が,本件	トロ頭	(弁論)	期日に出	頭しな	い。証	拠に
	(口) 被 () 请对	皮告柳湖 於原因 粵	頼正男は 事実を認	t, 本件 3める旨	ロ頭がの記載	弁論期 蔵があ	目に	出頭せて	デ,陳 辺	とした	さものと	こみなさ	れた答	弁書に	は,
	□ 另	川紙理由	由の要旨	記載の	とおり	ე 				ě,	f				
弁論終結日	平成 2	39年7	7月28	月								:			-
									裁	判所書	許記官	澁	谷	明 美	

PATENT

(Simplified written statement style · For later date judgment rendition)

Description of	f Case wa-21082 (2017) Judge's seal									
		Second Record o	f Oral Argun	nent (Judgement)						
Place and pre or absence of publication		Presented in Civil Division Bench Number 45 of Tokyo District Court	1:10 p.m., August 4, 2017							
Judge Court Clerk	Yasunori Sato As described at the end Parties who were present etc. (None)									
Oral argume	ent sur	nmary and others (checked	l columns or	aly)						
Judge reads	main	text and summary of the re	easons as fol	lows and pronounces judgment.						
Party	(As described in the column of brief). As described in the attache		f the attached copy of the complaint (in lieu						
Main text	 ✓ As described in the attached parties list. ✓ As described in the object of claim of the attached copy of the complaint (in lieu of brief). ✓ The Judgement may be provisionally executed. ✓ As described in the attached main text. 									
Claim	 ☑ As described in the column of object and statement of the claim of the attached copy of the complaint (in lieu of brief). ☐ The day after the date of delivery of the complaint is MonthDateYear ☐ As described in the attached copy of brief (dated on MonthDateYear). ☐ As described in the attached claim. 									
Summary of the reasons	 ☑ Defendant: Japan Nature Cell Co., Ltd. has not appeared on the day for oral argument and has not submitted a response and other brief. Therefore, the defendant does not make it clear that he/she contends the facts constituting the statement of the claim, so that the defendant shall be deemed to have admitted such facts. ☑ Defendant: Hirotaka Kajiya has claimed a judgement rejecting plaintiff's claim and has stated to admit the facts constituting the statement of the claim. ☑ Defendant: had been called by a public notification, but has not appeared on the day for oral argument. With the evidences, the facts constituting the statement of the claim are totally admitted ☑ Defendant: Masao Yanase has not appeared on the day for oral argument, and it is described that the defendant admits the facts constituting the statement of the claim in the response deemed to be stated by the defendant. ☐ As described in the attached summary of the reasons 									
The day arguments		28, 2017								
concluded	In 1999 to language in the second	·		Court Clerk: Akemi Shibuya						

PATENT